

2021年12月17日

各位

仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
株式会社じもとホールディングス

東京証券取引所の新市場区分「スタンダード市場」の選択について

株式会社じもとホールディングス（本社 仙台市 社長 鈴木隆）は、本日開催の取締役会において、2022年4月4日に予定されている株式会社東京証券取引所（以下、「東証」といいます。）の新市場区分について、「スタンダード市場」への移行を選択し申請することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 新市場区分の目的と当社のビジネスモデル

今回新設される「プライム市場」は、より高いガバナンス水準を備え、海外投資家との建設的な対話を中心に据えて、持続的な成長と中長期的な価値向上に取り組む企業向けの市場となっております。

一方で当社は、宮城県と山形県を基盤とする地域金融機関であり、「宮城と山形をつなぎ、本業支援を通じて、中小企業や地域の課題解決・発展に貢献すること」を経営理念に掲げ、中小企業や地域との共通価値を創造することをビジネスモデルとしております。

また、当社の株主については、SBIグループのほか、宮城・山形の地元取引先や個人を中心に構成しており、これらの株主を中心に対話を重ね、信頼関係の構築に注力しております。

さらには、当社のビジネスモデルの実現に向けて、地域の産業動向や企業経営などに多様な知見を有する社外取締役13名（グループ合計）を招へいするなど、上場企業・監査等委員会設置会社として、一定のガバナンス態勢を構築しております。

2. 市場選択の理由

上記のとおり、「プライム市場」では、海外投資家との建設的な対話を中心に、より高度なガバナンス態勢の構築が求められますが、当社のビジネスモデルや株主構成、ガバナンス態勢のあり方は「スタンダード市場」に合致するものと考えております。

また、「プライム市場」を選択した場合、上場維持のためのコストや注入すべき経営資源がさらに増加することを踏まえ、当社としては、「スタンダード市場」を選択し、当社グループの経営

資源をビジネスモデルの深化へより集中させ、地域貢献を果たしていくことが、当社の存在意義、企業価値向上につながるものと判断したものでございます。

3. 企業価値の向上に向けて

当社は、上場企業・地域金融機関として既に公表しました中期経営計画・経営強化計画に基づき、中長期的な企業価値の向上に向けて、以下のとおり取り組んでまいります。

なお、当社グループの企業活動状況については、本日、当社ホームページに掲載しました「会社説明資料 ～2022年3月期 第2四半期～ 2021年12月」をご覧ください。

<中長期的な企業価値向上に向けて>

項目	内容
業績向上	当社グループの経営理念に基づく地元中小企業と地域への貢献を目指すビジネスモデルを徹底し、中期経営計画・経営強化計画の達成を通じて、さらなる業績向上に取り組んでまいります。
投資家との対話	地元の株主を中心に、多様な株主との対話を進め、信頼関係の構築に努めてまいります。
ガバナンス高度化	社外取締役の多様な知見を積極的に活用するなど、上場企業・監査等委員会設置会社として、ガバナンス機能をさらに発揮してまいります。
サステナビリティ	SDGsや女性職員の活躍などについて、事業活動を通じて持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

以上

【本件に関するお問合せ先】

じもとホールディングス	総合企画部	清水	TEL 022-722-0011
きらやか銀行	経営企画部	黒澤	TEL 023-628-3896
仙台銀行	経営企画部	中島	TEL 022-225-8258